

創立110周年 スローガン	立教182年 活動方針
「創立110周年に向けて、 各教会が話し合い心を定めて、 一手一つで通ろう！」	「おやさまのひながたとは、 ようぼくを育て増やすこと」 ・初席者 104名 ・中席者280名

◇本部春季大祭◇

1月26日午前11:30。雪の降る中
ご存命の教祖をお偲びし、厳かに執行された。

◇立教182年活動方針◇

創立110周年スローガン発表◇

「おやさまのひながたとは、ようぼくを育て増やすこと」
・初席者104名 ・中席者280名
「創立110周年に向けて、各教会が話し合い心を定めて、
一手一つで通ろう！」

◇教祖御誕生祭・婦人会総会◇

教祖誕生祭：4月18日 午前10時執行
婦人会総会：4月19日 午前9時半式典

◇全教一斉ひのきしんデー◇

4月29日(祝) お近くの会場へ家族みんなで参加しましょう。
会場はお近くの教会が、「教区・支部情報ねっと」でお調べ下さい。



発行所
天理教網走大教会
布教部出版広報掛
〒093-0073
網走市北3条西6丁目
TEL 0152-43-2227
FAX 0152-44-2227

人の御守護	
中席	初席
1月	
0席	0席
累計	
0席	0席



神殿講話全文

神殿講話

大 教 会 長

大教会春季大祭は、12日午前10時から大教会長祭主のもと執行された。

大教会長は祭文で、親神様の御守護に御礼申し上げた後、「一年も改まり立教百八十二年を迎えるにあたり、本年が後退せぬよう、教祖のひながたをひたすら求め、それぞれが定めた心定めの実遂に向け強い一歩を踏み出す所存でございます。何卒親神様にもこの誠真実の心をお受け取り下さいます、成人の鈍い我々

大 教 会 春 季 大 祭

でありましたが、今年こそは真柱様のお姿が拝見できますように、更にはまだこの道の教えを知らず、病に苦しみ家庭の不和など、その身の不幸を嘆いている世の人々を真にたすかる陽気ぐらしの道へとお導き下さいますよう、一同と共に慎んでお願い申し上げます。」と奏上した。

その後座りづとめ・十二下りのてをどりが勤められ、参拝者は共に勇んでみかぐらうたを唱和した。

本日は1月の大祭という事で、明治20年1月26日に教祖がお姿を隠されたゆかりの月になるわけでありますが、教祖がお姿を隠されるまでの約50日の間に、当時の先生方に何を求めておられたかと言いますと、まさに「おつとめをせよ」という事でありました。では、何故「おつとめをせよ」と急ぎこまれたのか。それは親神様・教祖は、大勢の子ど

もを救きたい一心でありました。とにかくおつとめを真剣にすれば、必ず救かっていくので「おつとめをせよ」と仰せられたわけであります。ではなぜ、おつとめを真剣にすれば救かるのでしょうか。それはおつとめは人間を造られた時の理合いがあるからであります。人間を造られた時の理合いとは、元の理であります。元の理については、教典第三章に書かれておりますが、本日はおつとめと元の理のお話をさせて頂きたいと思っております。

ところで皆さん、甲賀大教会という教会はご存じでしょうか。甲賀大教会の初代様は、元の理のお話ばかりをしておたすけに歩いていたそうであります。ある時、痔の病気で苦しんでいる方の所へおたすけに行った時も、また元の理のお話をされました。元の理のお話を聞いて、すぐにこのお話が胸に治まったという方は少ないのではないのでしょうか。まして初めてこのお話を聞く人達は、大変つまらない話だと思われる方も多いのではないのでしょうか。この痔の病の方もそうだったのであり